

「吾等は新聞聯盟のロック・アウトに遭ひたるものにして東京全市新聞休刊の責については吾等の關する所に非らず」と主張する所以なり。而して罷業惠與金を有せざりし革進會は帝都日刊新聞の全部をして五日間に亘りて其の最も苦痛とする休刊を餘儀なくせしめたる労働史上の一大事實をせめても
の收穫とし、多數の犠牲者を出したる上「近き將來に於て諸君の希望に副ふ所あるべし」との條件の下に降伏するを止むなくせられたり。

革進會は此の舉に慘敗すると共に名實共に其の存在を失ひたり。

新聞工組合正進會

革進會は解散するの餘儀なきに到れり、されどそれは新聞聯盟の力に抗し難く、時を待つて再舉を圖る準備のための蟄伏に外ならざりき。果たせる哉、何時とはなしに新聞印刷工組合正進會なるもの現はれ、報知、萬朝、讀賣、朝日を始め東京市在社の大小新聞工場に多數に會員を有するに至り、萬朝報知の如きは工場職工の大部分を擧げて正進會に入會したり。されば正進會は實際上舊革進會の後身と云ふべく、會長布留川桂氏は報知新聞の工場職工にして社會主義同盟の發起人たり、桑原鍊太郎（讀賣）生島繁（報知）伏一郎（報知）北浦千太郎 報知一等も社會主義同盟に加入せる人々にして共に正進會の有力者なり。故に本年九月下旬より十月上旬に亘り東京に於ける大小新聞工場に勃發せる勞

働紛争の背後には社會主義同盟の同志の參劃せるは明白なる事實にして近藤憲二氏は宣言起草等の任に當り、岩佐佐久太郎氏等も正進會に取りて有力なる後援者たりしなり。

正進會は本年八月一日慘敗一週年紀念會を開催し、其の席上に於て昨年の要求に對し新聞社側の約せる所を實現せしむべく運動に着手することを申合せ、正進會の名の下に各新聞社宛書面を以て、八時間二部制其の他の條件の實施を促したり、然るに月餘を過ぐるも遂に回答を得ざりき。

報知社に爭議起る

舊革新會の採りたる前年の總同盟罷業式の攻法は却つて經營者側の結束を鞏固ならしめたる結果に鑑み、正進會は戦法を變更して、各社時を異にし、個々に其の所屬工場の名の下に要求を提示するに如かずと云ふに決したり。然すれば、新聞社の最も恐るゝ單獨休刊に陥る危険を避くるために、要求を容認せざるを得ざるべしとの觀測下に、九月二十日先づ正進會々長の膝下なる報知新聞に於て、同工場代表者の名を以て正進會同志は「昨年の口約に基き勤務時間の改正を實行せられたし」と申出でたり、越えて二十三日布留川氏は口頭を以て後日八時間二部制其他の要求條項を提出するの意ある旨を三木社主に告げ、「要求を正式に提出したる場合は即答ありたし」と豫告を發したり。

然るに九月二十六日午前左記六個條の要求を提出せんとするに當り、平素正進會員と和せざる一勝